

2025年6月度 建築音響研究会 開催報告

6月度研究会は熊本城ホールにて、対面で開催いたしました。テーマ「一般」において3件の研究発表、熊本城ホール メインホールの見学会が行われました。研究発表では、「幼稚園の新入園児を対象とした吸音の効果の検証」、「滝と豊かな植栽を有する熊本駅ビル内の吹抜における音環境計画とその評価」、「熊本城ホールの音響計画」、の3題について幅広い議論が行われました。後半は、熊本城ホール メインホールにおいて、設計者の青木様からの説明を交えながら施設の見学会が行われました。35名の皆様にご参加いただき、大変活発な質疑討論が行われ有意義な研究会となりました。

今後とも引き続き、積極的な話題提供と研究会への多数のご参加をお願い申し上げます。

■ 開催概要

日 時 : 2025年6月11日(水) 13:30~17:00

場 所 : 熊本城ホール 中会議室 C1-2 (前半:研究発表)

熊本城ホール メインホール (後半:施設見学会)

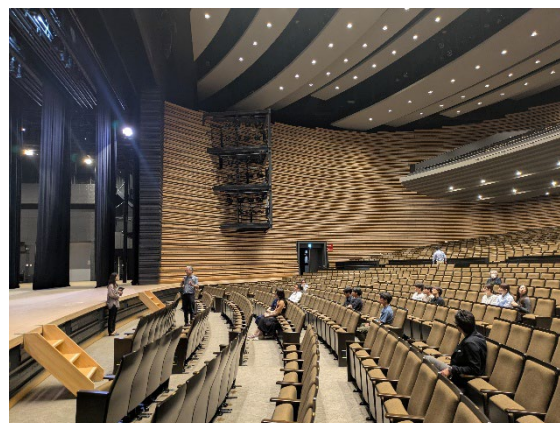
議 題 : 一般

発表件数: 研究発表 3件、ホール施設の見学会

参加者 : 35名



研究発表



施設見学会 (熊本城ホール メインホール)

■発表題目および内容概要（テーマ：一般）

※以下の概要は建築音響研究会資料の「内容概要」から転載したものです。

1. 幼稚園の新入園児を対象とした吸音の効果の検証

松岡郁李, 川井敬二（熊本大院）

【概要】本研究では新入園児の園への慣れに対する吸音の効果の検証のために、実際の幼稚園において現場実験を行った。実験は2歳児室2室と3歳児室2室で実施し、各年齢の1室に4月から吸音材を仮設し、半年後の11月以降は吸音条件を入れ替えながら、日々の室内音と動画を記録した。2才児室の観察結果では、4月は吸音のない室で園児が泣いている日が多くみられ、また11月に2室とも吸音なしの同一条件としたとき、4月から吸音のない室の室内音圧レベルが2 dB程度大きいことが示された。一方で、3歳児の2室は吸音による室内音圧レベルの違いはほとんど見られなかったが、理由について、保育者へのヒアリングにより担任経験回数に25回と初回という大きな差があることがわかった。

2. 滝と豊かな植栽を有する熊本駅ビル内の吹抜における音環境計画とその評価

井上瑞紀, 青木亜美（日建設計）

【概要】熊本駅ビルの吹抜空間における音環境について報告する。本施設では滝や植栽などにより熊本の阿蘇の自然を再現することが求められた。そこで、自然の滝音の迫力を維持しつつ、商業施設としての快適性を確保するために、フィールド調査や論文調査を通じて騒音レベルの目標値を設定した。目標値は滝近傍、通過空間、滞在空間で分けて設定し、それぞれの目標値が達成できるよう滝の音の制御方法と建築空間の吸音計画を行ない、竣工後の測定により目標値が達成されていることを確認した。アンケートでは、滞在空間としての音環境満足度が高く、利用者からは滝音の迫力と快適性が実現できていることを確認した。

3. 熊本城ホールの音響計画

青木亜美（日建設計）

【概要】熊本城ホールは、メインホール、多目的ホール、展示ホール、貸会議室群が積層した施設であり、バスターミナル、商業、ホテル、住居等の10の用途が集積する大規模施設の中にオープンした。各室の室内音響計画においては、用途に応じた吸音計画に加え、メインホールのバルコニー部に吹抜けを設ける工夫などを行った。また、室間の遮音計画においては、特に低音に配慮した計画を行った上で、施工段階でも関係者が一丸となって性能確保に努めた。市内外からの来訪者にとって、親しまれる空間を実現することができた。

☆建築音響研究会の資料 バックナンバー に関する問合せ先：

建築音響研究委員会 HP（<https://asj-aacom.acoustics.jp>）にてバックナンバーのページをご確認いただき研究会幹事団までお問合せ下さい。